



児童英語教育研究センター

Center for Teaching English to Children (CTEC)

児童英語修了卒業生による座談会開催！(前半)

8月17日、児童英語教員養成課程を修了し、小学校教員となった卒業生5名をお迎えしてオンライン座談会を開催しました。卒業生の皆さんからは、教員としての体験談、そして現役学生へのアドバイスなど、多くのヒントが詰まった貴重なお話を伺うことができました。非常に有意義で盛り多い時間となりましたので、その内容を前半・後半の2回に分けてご紹介します。

卒業生紹介



矢吹 光莉さん '23年度卒
福島県西郷村立米小学校
1年生担任



安藤 優那さん '23年度卒
さいたま市立日進小学校
外国語専科教員



金 永純さん '21年度卒
群馬国際アカデミー内定
現在千葉経済短大で
小学校教諭免許取得中



澤田 真菜さん '23年度卒
千葉県流山市立
おおぐろの森小学校
3年生担任



中山 みゆきさん '23年度卒
北海道北見市立高栄小学校
5年生担任

児童英語教員養成課程を履修したきっかけや課程の魅力

中山：もともと子どもと接することと英語が好きで、「子どもに英語を教えられる人になりたい」と思っていました。大学一年生のときから児童英語を履修するために必要な科目を取り始め、二年生からステップ1の科目を履修しました。児童英語のメンバーとは互いに協力しながら授業の練習を行い、大学を卒業しても付き合いのあるかけがえのない仲間ができました。

澤田：大学入学前に説明会で見た児童英語のポスターがきっかけでした。小さい頃から英語の絵本に親しんでいたこともあり、興味を持って履修を決めました。一年後期から児童英語を学び始め、中高教職との両立で忙しい日々でしたが、児童英語の授業が一番好きだったので頑張ることができました。実習で指導案づくりに悩むことがあっても、優しい仲間たちと支えあいながら乗り越えることができました。

金：一年前期から教育論を履修し、学問的な興味から児童英語を学び始めました。学ぶうちに、「子どもに英語を教えるには発話を引き出すスキルや、音声・言語の知識が欠かせない」と感じ、さらに深く学びたいと思うようになりました。大変でしたが、授業や教材づくりなどを通して**英語力に加え『教える力』というプラスアルファのスキルを得られた**ことは、今後の大きな財産になりました。

安藤：もともと中高教職を履修していましたが、うまくいかず悩んでいたとき、教職担当の方から児童英語を勧められ、思い切って挑戦しました。塾でのアルバイト経験もあり、「子どもに効果的に教える方法を学びたい」と思って猛ダッシュで履修。中高教職も同時にとりながら、四年生で無事に卒業しました。課程は大変でしたが、とても楽しく学べました。現在は専科教員として勤務していますが、児童英語で学んだ指導案の書き方や、子どもへのアプローチ、『音から文字へ』の指導法が今の授業に生きています。現在教えている子どもたちの成長を見て、「児童英語を学んでよかった」と心から感じます。

矢吹：二年生から履修を始めました。**子どもと英語が好きで、将来は教える立場になりたい**という思いがあり、大学のパンフレットで児童英語教員養成課程を知って履修を決めました。模擬授業では人前に立つのが苦手で挫折しそうになったこともありましたが、続けるうちに自信が付き、授業を「楽しい」と思えるようになりました。仲間と支え合いながら頑張った大学時代は、一生の思い出です。

先生コメント：最終的に「楽しい」と思えるのは、決して楽して得られる楽しさではなく、苦勞を乗り越えたからこそ感じられるものです。みなさんが努力を重ね、実力を確実に高めていった証だと思います。

小学校教員(専科含む)になりたいと思ったきっかけと、その後の行動

金：千葉経済短大に入る前は、約2年間塾講師として働いていました。教えること自体が好きで指導の道に進みましたが、「子どもたちに**“勉強って楽しい”**と思ってもらえる指導者になりたい」という思いが強くなりました。在学中は船橋実習やキッズクラブでのアルバイトを通して、学校教育と民間教育の違いを体験。それぞれの良さを感じる一方で、卒業後も学校現場への思いが残りました。河合先生と連絡を取り合う中で「現場で教えられるよ」という言葉に背中を押され、仕事を辞めて千葉経済短大に再入学。就職活動中に「バイリンガル教員」という職種を知り、英語と小学校教員免許の掛け算で活かせる仕事だと感じ、私立小中高一貫校(インターナショナルスクール)の採用試験に挑戦しました。

先生：安藤さんが**外国語専科教員になりたい**と思ったきっかけは？

安藤：きっかけは船橋実習と海外（ニュージーランド）実習です。中高教職と児童英語を履修していたため、どの道に進むかギリギリまで迷っていました。船橋実習と海外実習に行き、**日本と海外それぞれの教育現場を経験する中で、「小学校で英語を教えたい」という気持ちが明確になりました。**ニュージーランド実習で音から文字へ導く指導法を見て、児童英語で学んだ内容がそのまま活かされていることに感動し、英語教員として教えていく具体的なイメージが沸きました。四年次には、英語専科教員一本で教員採用試験に挑戦しました。

先生：他三人の皆さんが**担任という立場を選んだ**きっかけは？

矢吹：幼いころから小学校の先生に憧れていましたが、自信がなく一度は諦めていました。しかし、船橋実習で児童英語を修了した**先輩が現場で活躍している姿を見て、「自分にもできるかもしれない」と**思えるようになりました。河合先生からの励ましもあり、小学校担任の道を選びました。大学卒業後は、神田外語大学と千葉経済短大で科目等履修生として学びながら、実習二本と教員採用試験に挑戦。忙しい一年でしたが、学びの多い充実した時間でした。

中山：当初は「英会話の先生になれば」と思い児童英語を履修し始めましたが、就職活動の時期に船橋実習を経験。子どもたちの英語力が自分の授業を通して伸びていく姿を見たことで、「やっぱり学校現場で教えたい」と感じました。ネイティブ講師が多い英会話業界よりも、**故郷で子どもに英語を教えられる小学校教員の道に魅力を感じました。**四年次から中高教職も並行して履修し、卒業後は科目等履修生として千葉経済短大に通い、小・中・高すべての教員免許を取得しました。

澤田：大学時代、最も力を注いだのが児童英語の学びでした。キッズクラブや絵本の読み聞かせ、実習を通して、**子どもたちが「わかった！」と笑顔を見せる瞬間に大きなやりがいを感じ、「もっとその喜びを引き出したい」と**思うようになりました。大学卒業段階では進路をきめられていませんでした。話すことに苦手意識があり自分は子供たちの前に立てる人間なのかという葛藤と、物理的にも中高教職に必要な語学基準を達成していなかったこともあり、思い切って短大にすすみ、もう一年小学校の指導法を学ぶことを選びました。その過程で**英語指導だけでなく他教科連携にも興味が向き、現在のように担任として働くことに決めました。**

👉 **一次号へ続く！**

課程・実習説明会開催

小学校教諭免許取得支援課程

【日時】12月3日(水) 12:20～13:00

【場所】1-112教室

【対象】興味のある学生

主に教職を履修中の英米・IC学科の2～3年生

船橋実習

【日時】12月10日(水) 12:20～13:00

【場所】1-112教室

【対象】興味のある学生★次年度参加予定者は必須

就職座談会

【日時】12月17日(水) 12:20～13:00

【場所】1-112教室

【対象】児童英語関連に就職したい方

★小学校やインターナショナルキンダガーデンで教員として勤務している修了生の体験談を聞くことができます！



後期から船橋実習がはじまりました！



船橋実習の様子

9/16(火)から児童英語教育実習(船橋)がはじまりました！今年度は16名の学生が船橋市内の各小学校で外国語での授業内学習サポーターとして実習に参加しています。

8/27と9/3の2回に分けて事前指導を行い、1回目では船橋教育委員会指導課から先生方をお招きし、学生たちに船橋市の英語教育の現状や、小学校現場での心構えなどご指導いただきました。船橋市では、小学1年生から外国語の時間を設けており、幅広い学年で実習を行うことができます。実習では、小学校の現場に入ることによって実際に子どもたちに接することができ、講義内で学んだ活動を実践して指導技術を高め、また子どもの発達過程の特徴を経験を通じて学ぶことができます。

ゼミ生募集中！

👉 **研究演習-85** 🕒 **月曜日4限目**

💡 **テーマ-子どもの言葉の発達や習得を探究する-**

子どもの言語発達や習得を中心に、効果的な音声指導法、CLIL・絵本を活用した実践、リテラシー教育、支援を必要とする子どもへのインクルーシブな外国語教育などに関心のある学生を対象に、実証的研究および実践的研究を行うための方法や理論を学ぶ。

💡 **担当** 河合裕美先生

専門は初等英語教育。特に子どもの英語音声習得や指導法の研究、聴覚障害児童の英語音声指導などの研究など。



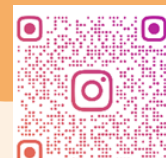
for more information

[TEL] 043-273-1579

[E-mail] ctec-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp

[URL]

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/ctec/>



編集：柳橋